

学校関係者評価報告書

東海医療科学専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人セムイ学園 東海医療科学専門学校 学校関係者評価委員会は「令和元年度 学校自己評価表」の結果に基づいて学校関係者評価を実施しましたので、下記のとおり報告します。

「学校関係者評価」の実施方法について

学校関係者評価は、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に沿って実施し、学校関係者評価委員に評価していただきました。学校自己評価表（令和元年度版）と併せてご覧ください。

I 令和2年度 学校関係者評価委員会 開催概要

1. 日 時

令和2年9月12日（土） 15:30～17:00

2. 会 場

東海医療科学専門学校 5階 普通教室（1）

3. 議 事

- (1) 令和元年度 学校関係者評価の対応状況
- (2) 令和元年度 自己評価結果について
- (3) 関係者評価委員による評価の実施と公表について
- (4) 意見交換

II 学校関係者評価委員、学校担当者

(1) 委員

学科	構成	氏名	所属
臨床工学	卒業生父兄	齋藤 友久	医療法人 仁聖会 碧南クリニック
臨床工学	卒業生父兄	林屋 裕二	シニアらいふサポートセンター
臨床工学	企業等委員 卒業生	山田 賢太郎	医療法人愛誠会 ゆりクリニック名古屋東
理学療法	企業等委員	熊澤 輝人	愛知県理学療法士会
言語聴覚	企業等委員 卒業生	加藤 由理	医療法人明和会 辻村外科病院
作業療法	企業等委員 卒業生	内山 貴博	医療法人 並木会 並木病院
柔道整復	企業等委員 卒業生	加納 崇希	わかたデイサービス

(2) 担当教職員一覧

氏名	所属・職名
籾本 恭明	東海医療科学専門学校 校長
大竹 有二	東海医療科学専門学校 校長代理
近藤 達也	東海医療科学専門学校 教学部長
太田 晃二	セムイ学園 法人本部 総務部長
田中 敏彦	東海医療科学専門学校 教学部長補佐、作業療法科 学科長
中村 新一	東海医療科学専門学校 教学部長補佐、臨床工学科 学科長
奥地 伸城	理学療法科 学科長代行
鬼頭 宏	柔道整復科 学科長
小林 二成	言語聴覚科 学科長
高山 久志	社会福祉科 学科長

Ⅲ 学校関係者評価委員による意見、提言等

基準1 教育理念・目的・育成人材像

校長先生の講話やセムイ体操など、他の養成施設ではない取り組みをされており、大変よいと思う。

また、教員の人材育成にはさらに積極的に取り組んでいただければと思う。

基準2 学校運営

- ・学生にあった個別サポートを実施し中途退学者減少に取り組んでいる。
- ・今年はコロナ禍であり、イレギュラーであるが、今後のためにも就業規則等の見直し、対応を迅速に進めていただければと思う。

基準3 教育活動

- ・国家資格取得に対しては高い合格率が評価基準になりえるので引き続き教員を含め研鑽を努めてもらいたい。
- ・コロナ禍で思うような授業・実習が行わない今日、オンラインを含めた新たな教育体制が求められています。前例が無いと留まることなく他校の見本となるような教育方法を見出してもらいたい。
- ・当然「国家資格取得」のためのカリキュラムに充実は図られていると思いますが、「充実」の中身として他校との差別化も重要と思われる。
今後、学生数の減少や感染症による学生募集の在り方の変容を見越し、御校の「アイデンティティ・オリジナリティ」を感じられるような活動があれば良いのではないのでしょうか。
- ・現在のコロナ禍の中、失業率の上昇が予想され、これまでの傾向として終息後(就職困難期)、介護・福祉職への求人の対する応募者の増加が予想されます。
その際、助成金を活用しての資格取得希望者の増加も見込まれ、様々な業種からの入学者が予想され、その対応も検討しておく必要があるのではないのでしょうか。
単なる「資格保持者」を増やすのではなく「福祉職」を育成していく御校の基本理念の実践が大切になってくると、現場で支援する者として強く感じます。今後一層の協力・協働ができればと思う。

基準4 学修成果

- ・国家資格の取得率について、模擬試験において客観的数字をもとに指導され、資格取得率向上につながったことは良いことで、今後も続けてほしい。逆に下がった学科は問題分析をして次に活用する必要があると考えられるが、分析をしているか。
- ・どの学科も国家試験対策を行えていると思います。今年度も合格率100%目指して頑張ってください。
- ・今年はコロナウイルスで予定通り授業を行うことや生徒の個性を理解するのに時間がかかってしまったのではないかと思います。引き続き生徒の精神状態などの把握をしていただければと思います。

基準5 学生支援

各学科に細かな学生支援に取り組まれているようで大変良い。

いずれの学科も国家試験があるので、対策を十分進めていただければと思います。

基準6 教育環境

ここ数年自然災害が増えてきているため、緊急時の備蓄を確保しているのはとても良いことだと思う。

基準7 学生募集

- ・積極的に情報提供して学生募集されている。
- ・東海3県以外からの入学者も増加している。
- ・安易な考えで(卒業すれば資格がもらえる等)入学する生徒も見受けられます。有資格者を育成するのは最大の目的であるが、どんな医療人になりたいか、クオリティーも重視していただきたい。社会現場で浮いてしまい退職の一員となってしまう。

基準8 財務

- ・国などから補助金等が受けられている。健全な経営がなされている。
- ・補助金、寄付金に対し前向きにコンプライアンス確保に力を入れている。
- ・外部の会計監査などシステムの体制整備がなされて、見直し等実施している。
- ・財務管理も定期的にチェックされている。今後、予期せぬ事態に備えての資金確保を考えていただきたい。

基準9 法令等の遵守

- ・適正な運営がされていると思います。
- ・時代の流れに合わせて、体制を変化させる度、常に見直しをしていただきたい。
- ・「コンプライアンスの徹底」はシステムの・ルールの構築が基本ですが、一番重要なのは「継続すること」であり、とても困難さと労力が必要になります。特に、職員の出入りがある場合は尚更です。しかし、コンプライアンス・ガバナンスなしに健全な運営は困難であり、現在の取り組みを継続され必要に応じ見直しも必要となると思われる。
- ・PC等の情報管理については明確なルールを設定しておられ、それが順守されているということで適切であると思われる。
ただ、今後ICTの導入を検討されるとのことですので、そちらの運用やセキュリティの検討は必要になってくと思われる。

基準 10 社会貢献

- ・例年各学科とも施設、学校に出向きボランティア活動を学業の傍ら行えていることには頭が下がります。
- ・学校も生徒の活動に対しての支援は十分なものと思えます。
- ・今年は情勢的に出向くことが非常に難しいと思います。こんな時だからこそ人間的に成長させるチャンスはきっとあると思っています。直接的なことだけでなく間接的な社会貢献を期待しています。

以上、評価委員より示された提言等については、所管部署においてこれを踏まえ改善策を検討するものとする。